

放射線治療について



放射線治療はがんの治療のひとつです。
（がん以外を治療することもあります。）
この治療を受ける方は年々増加し、この
10年間で約2倍になりました。平成19年
には日本で20万人以上の方が放射線治療
を受けています。しかし、まだ一般の方に
はなじみがつすぐ、放射線治療について「な
んとなく怖い」「副作用が心配」などの声
を聞くこともあります。それでも不安なく治療を開始できるように、これまでに患者様から寄せられた質問に
お答えする形で放射線治療についてお話し
します。



？治療中生活の制限はありますか？

特にありませんが、極端に疲れるることは避けて下さい。お仕事を続けながら放射線治療を受けている方もたくさんいらっしゃいます。家事も普通に行えます。



？食事で注意するいとはありますか？

バランスのよい食事を心がけて下さい。口内炎や下痢等が生じた場合は刺激物は避けて下さい。治療部位により若干注意事項が変わりますので、詳しくはスタッフにお尋ね下さい。ビタミンAとビタミンCを大量に摂ることは放射線治療の効果を下げる可能性があるといわれています。サプリメントの服用は、治療中は避けて下さい。



	治療部位	症状
下腹部	おなか	頻尿・排尿時の痛み
肺	肺	せき・肺炎
食道	口・のど	口内炎・声のかすれ もののみこむ時の痛み



？その他の治療中の副作用はどんなものがありますか？

最近の放射線治療では抜けません。たとえば乳がんや前立腺がんの治療で脱毛がおきなったり皮がむけることもあります。治療後には治ります。

？皮膚が火傷のようになりますか？

頭部の治療以外では抜けません。たとえば乳がんや前立腺がんの治療で脱毛がおきなことがあります。

？副作用についてのご質問にお答えします

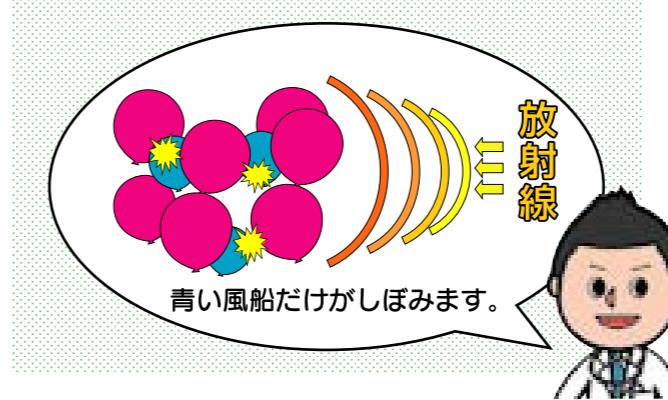
？髪が抜けますか？

？吐き気は強くなりますか？

？放射線で効果のあるがんは？

放射線は多くのがんに有効です。左図に示した以外にも放射線治療が行われるがんもあります。胃がん・大腸がんは、多くの放射線をあてると臓器に穴があく危険があるので一般には適しません。ご自分や身内のがんに放射線が有効かどうかは、放射線治療を専門に行う医師に確かめてください。

●●● 放射線治療のイメージ ●●●
正常な細胞は放射線に抵抗力があるので、ダメージを受けにくくなっています。
※青い風船=がん細胞
赤い風船=正常な細胞



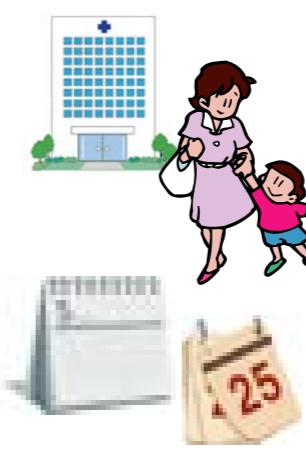
？放射線治療についてのご質問にお答えします

？放射線治療はどんな治療ですか？

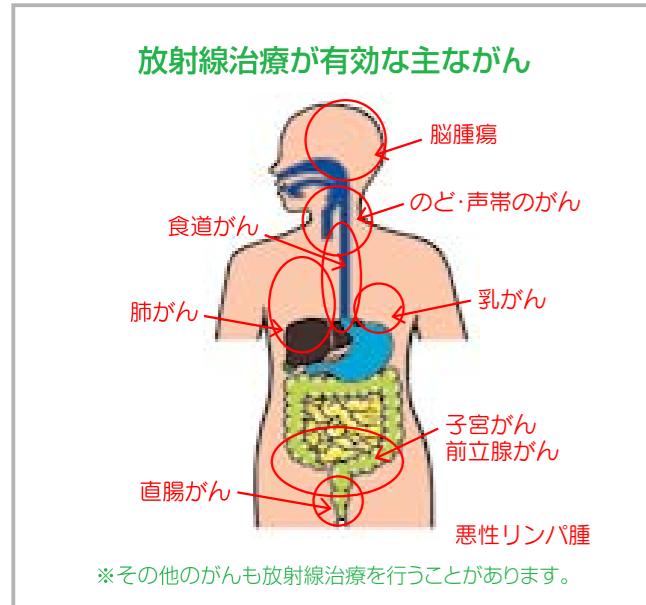
放射線を病巣にあてることにより、がん細胞を徐々に死滅させる治療です。副作用が出にくいように毎日少しづつ放射線を当てます。

？治療は何回くらい行いますか？

1日1回の治療を10回～30回くらい繰り返します（個人差があります）。土曜、日曜は休みになります。



治療期間は2～7週間くらいです。（個人差があります）



※その他のがんも放射線治療を行うことがあります。

放射線治療のながれ



左手の指の治療前の状態です。手に描かれた線は、放射線を正確に当てるためのしるしです。



放射線治療後半です。赤い部分はほぼなくなっています。



治療終了後3ヶ月です。皮膚は正常になり、どこに病気があったかわかりません。動きにも問題はありません。

放射線治療の一例

指の間の皮膚がんです。患者様のご協力をいただき、放射線治療でどのように病気が治るかを記録しました。切らすずに治す放射線による治療経過をご覧下さい。



- 治療前診察
●治療方針の決定



- CT検査
●治療計画の決定



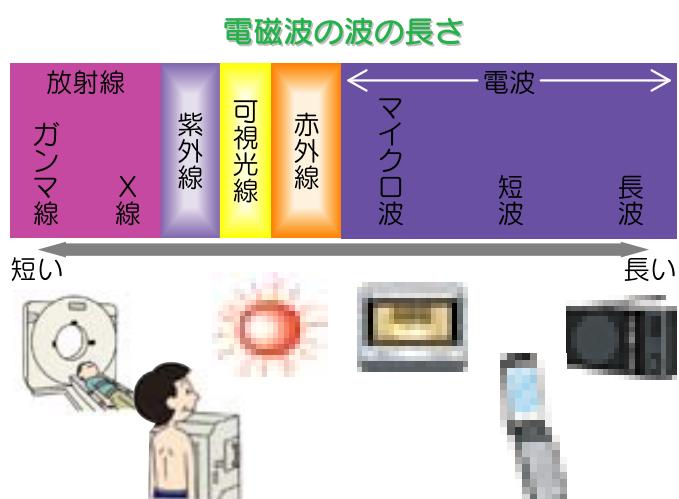
- 放射線治療
●治療中診察



- 治療後定期診察



放射線ってなんだろう？



放射線は光や電波と同じ電磁波の一種です。電磁波は波の長さによつて性質が異なり、生活にも利用されています。波が1kmほどならAMラジオ、10mなりFMラジオ、1cmなら電子レンジや携帯電話の電波です。波がもつと短くなれば光となり、赤外線・可視光線・紫外線として知られています。放射線の中のX線やガンマ線は紫外線より更に短い波です。物質を透過したり、遺伝子に傷をつけるなどの力を持つています。こういった性質を利用して、CT検査や放射線治療が行われています。

放射線治療室のご紹介

放射線治療部では、医師・看護師・放射線技師のチームで診療に当たっています。スタッフの役割をご紹介します。



放射線治療医師

診察を行ない、放射線治療の方針を決めます。治療期間中はもちろん定期的に診察を行ないます。がん診療終了後も専門家であり、質問等に全般お答えします。



看護師

治療期間を通してあなたをサポートします。治療に関する相談や不安など、いつでもご相談下さい。



技師は必ず二人一組で、治療にあたります。

医師によって決定された治療方針に従つて、放射線をあてます。治療する部位の皮膚につけ、体の位置を正確に調節し、病巣部に正確に印射します。

放射線治療技師



↑当院の放射線治療装置です。
照射範囲の形状を自由に決められる
多段階絞り装置のついた最新式リニアックです。



↑当院のスタッフです。
医師3名、放射線技師4名、看護師1名で
皆様の治療にあたります。



筆者紹介

診療部放射線科

柴山 千秋 医師

医学博士

日本医学放射線学会専門医
日本放射線腫瘍学会認定医
日本がん治療認定機構がん治療認定医
日本がん治療認定機構がん治療暫定教育医

学会の認定を受け、放射線治療を行っている施設は全国で247施設、県内では4施設しかありません。また放射線治療の専門家として学会が認定した放射線治療認定医は全国で575名、栃木県で7名だけです。当院は施設認定を受け、認定医も2名いる専門病院です。放射線治療に関する疑問点、心配なことなどありましたら、放射線科治療担当医にご相談下さい。